

助産学校 合格おめでとう！

●2011年

静岡医療科学専門学校助産学科、あびこ助産師専門学校、神奈川県立衛生看護専門学校、中林病院助産師学校、日本赤十字助産学校

静岡医療科学専門学校助産学科 F・J さん

合格出来ました!!!!

私は高校二年の時から助産師になりたくて、助産学校を受験しました。正直、母性や小児は大好きでしたが、得意な方ではありませんでした。しかも受験には小論文や英語があり、一年間で自分のものにするのにとても苦労しました。しかし、推薦を貰えるほどの実力もなかった私でも、受験で褒められるまで上達し、試験に合格出来たのはSANの先生のお陰だと心から思っています。現役生なので一年間学校での実習、国家試験も平行して来ましたが、頑張っただけで最後まで来れたのは何よりも熱心な先生方の力でした。学校の仲間や先生、家族、助産クラスの皆さん、通学部の仲間に沢山支えられました。また学校に教えに来て下さっていた横林先生は私の憧れの先生で、授業はいつも「頑張ろう」「あんな人になりたい」力をくれました。言葉では言い表せないほどの気持ちでいっぱいです。皆さんが一人でもいなかったら私は本当にありがとうございました!!!!

あびこ助産師専門学校 O・Eさん

「念願の助産師学校合格、佐藤先生がいなければ叶いませんでした。個別の指導によって、自信と知識を培われ成長できました。先生！本当にありがとうございます！」「念願の助産師学校合格、佐藤先生がいなければ叶いませんでした。個別の指導によって、自信と知識を培われ成長できました。年齢も条件も不利だったことから、思い悩みプレッシャーに負けていましたが、先生の言葉に何度も叱咤激励され乗り越えました。

先生！本当にありがとうございます！今回の努力は、何よりも自信という形で強みになりました。頑張っただけで助産師になります！」勉強は大変ですが、夢を思い続け先生の指導を素直に聞き、叶えていてください。

神奈川県立衛生看護専門学校 K・Mさん

神奈川県立衛生看護専門学校助産師学科に合格をいただきました！

私は、中学校の時に助産師という職に運命的な出会いをし、将来は助産師になりたい！と決意。医療の道に進むことを決めました。しかし、大学に入ったところで妊娠…子どもを産む選択をしました。

「子どもができれば母親として我慢しなければならぬこともたくさんあるとは解っていたつもりでしたが、その予想以上に、日々、我慢、我慢の連続。でも母親になっても助産師の夢は絶対に諦めたくありませんでした。大学の助産カリキュラムでは家庭と学業の両立は困難と判断し、助産学校を受験することに決めました。しかし、学費の面や自宅から通えるという条件を考えると、志望校は県衛生一本で進めるしかありませんでした。どうしてもこの一年で決めたい！と思い、インターネットで調べSANを知りました。決め手は、学費の安さと、他の予備校が日曜日開講であるのに対し、SANは土曜日だったこと。（保育園との兼ね合いで…）それまでSANの名前すら知らなかった私は、正直、最初は半信半疑でした。（すみません…）しかし、SANの初回の授業を受けて、「看護って面白い」

と心から感じたのを今でも覚えています。ただの丸暗記ではなく、根拠をもって理解する授業。SANでは単に国試や入試に受かるための勉強ではなく、臨床へ出る看護師（助産師）として知っておかなければならない知識の引出を増やし、授業を通して一看護師としての倫理観、看護観、人間観を養うことができました。正直、「週一回の予備校に通う」それだけでは倍率の高い助産学校には受からないと思います。いかに看護を学ぶことを好きになり、自発性を養い、学ぶ習慣をつけるか。先生や仲間とタッグを組んで、得た知識をものにし、疑問を解消するか。私の勝因はそこにあったのかなと思います。一年間、私を合格に導いてくれた先生方に心から感謝します！！ありがとうございました。

●2010年

母子保健研修センター助産師学校、神奈川県立衛生看護専門学校助産学科、桐生大学短期大学部 専攻科助産学専攻、奈良県白鳳女子短期大学助産学専攻科、日本赤十字助産学校

母子保健研修センター助産師学校

神奈川県立衛生看護専門学校助産学科 H・Cさん

合格しました！看護学校の時から、ずっと憧れていた助産師の夢に一步近づくことができました。

憧れだけで終わらせたくないと思いましたが、年齢的に家庭のこと、出産のことなど色々考え1度は諦めようかな？と思ったこともあります。しかし、どうしてもなりたいという思いは強く、今年中に絶対合格しようという思いで、SANの門を叩きました。私が、SANに通うと決めたのは合格者の声を読んだのがきっかけです。ここでなら合格できると思い入校しました。

佐藤先生の授業を受けた時、衝撃を受けました。根拠を詳しく教えてくれるのでとてもわかりやすかったです。毎回行われる確認テストは記述なので、確実に基礎力が身に付きます。勉強が解ってくると楽しくなり色々なことが知りたいと思うようになっていました。

また、勉強だけでなく精神的にも支えてもらいました。負けそうになった時、先生は「大丈夫。あなたなら合格できる。」と何度も励ましてくれました。私が合格したのは佐藤先生をはじめ、英語・小論文の先生方、家族、友人、一緒に学んだ予備校の友人の支えがあったからだと思います。

そして、最後に自分を信じて最後まで諦めなければ、必ず道は開けるとSANで教わりました。本当にありがとうございました。

これからがスタートラインです。辛いことがあっても最後まで諦めず、素敵な助産師になりたいと思います。

桐生大学短期大学部 専攻科助産学専攻 I・Mさん

私が助産師に憧れるようになったのは高校3年生の時、看護学校に入学し、母性看護学の講義や実習を通して、その憧れは夢へと変わって行きました。しかし、実習で忙しかったのもあり、なかなか進学先も決められておらず、やっと受験の準備が落ち着いたのは12月に入ってからでした。私は運良く学校から推薦がもらえることになったので、一般推薦として学校を受験することが出来ました。試験は小論文は「今後の子育て支援についての自分の考え」を書くものであり、事前に自分なりにいくつかテーマを考えて資料を調べたりしていたので小論文には自信を持って望むことが出来ました。

佐藤先生とは私の学校の講師として良く授業して頂いていました。先生の授業はわかりやすく、また特に大切な要点などを徹底的に教えて下さいました。先生はひとつのものを関連付けて教えてくださるので、頭の中を整理しやすく、そして、復習にもなりました。また、進学先の合格を伝えると心から喜んで下さり、今まで頑張ってきた良かったと思いました。本当に本当にありがとうございました。

奈良県白鳳女子短期大学助産学専攻科 T・Kさん

私が助産師を志したのは看護学校3年生になる春でした。友人の出産に関わり、生命の誕生の尊さを感じ感動したのと同時に、妊産婦さんやベビーや家族を支えていくには人間性や技術や知識がすべてなければいけないということを肌で感じたからで漠然と憧れ、助産師学校について調べましたが、どの学校も狭き門で自分では無理だと思っていました。そのままなんとなく勉強しつつ実習で忙しく、時間が過ぎていきました。夏頃に、SANの佐藤先生のところでは前年度受験者が全員合格していると聞き、お話を聞きにいかせてもらいました。急に訪れ、右も左もわからない私に助産師への思いをきいてくださり励ましてくれたのが印象に残ります。また学校別傾向や勉強方法など親身になって教えてくれました。そして佐藤先生は「人に頼ろうと思わないで自分でやるのが一番」といいました。私はこの言葉を聞き、本気で勉強しようという気持ちになりました。

受験は、自分との闘いであると思います。どれだけ自分と向き合い勉強できるか、心身のコンディションを整えられるかだと思いました。本気で進学を目指している人の横にいて、勉強方法はもちろん、心の支えになり本気で勉強させてくれるように自然と働きかけてくれます。

勉強だけ教えてくれる予備校はたくさんあると思います。でも、受験は気持ちの支えも必要です。専門的な知識プラス心の支えになりフォローしてくれる予備校はSANだと思いました。気持ちを支えてもらい、心を育ててもらうことで、面接や小論文にも役立ち、合格をつかむことができました。助産師学校受験では感性や心を見られるところもあると思います。

SANで心を育て、勉強を一生懸命行い、第一志望の合格を勝ち取る人が増えますように！

佐藤先生、横林先生本当にお世話になりました。先生たちの熱心な指導がなければ今の自分は絶対ないと思います。本当にありがとうございました。

●2009年

天使大学大学院助産研究科助産専攻、福島県立総合衛生学院助産学科、栃木県衛生福祉大学保健看護学部保健学科、あびこ助産学院、島根県立看護短期大学、神奈川県立衛生看護専門学校、中林病院助産師学校、あびこ助産師学校、岩手看護短期大学、岐阜医療技術大学、母子保健センター助産学校

天使大学大学院 助産研究科助産専攻 N・Yさん

合格・・・！！すごく遠くに感じていたものをやっと手にすることが出来ました。

大学3年の3月、やっと将来について考えました。助産師になりたい・・・漠然とそう思うようになり、学校入学のための勉強をしてくれる予備校を探していてSAN横浜校に辿り着きました。

SANの体験・・・今でも鮮明に覚えています。先生の説明の分かりやすさに圧倒され、あっという間の2時間でした！本当にびっくりして、私は今までどんな退屈な授業を受けてきたんだろうとさえ思いました。先生の授業はとにかく、根拠を大事にしています。丸覚えじゃなくて、根拠を押さえたら忘れ

ないから！と全ての症状に根拠をつけてテキスト解説をしてくださいました。そのため頭でスッキリ整理できるのですぐに思い出すことも出来、応用も効きます。また、臨床での体験についてもお話くださるので、疾患のイメージがしやすいです。そして、先生は授業の中で看護職として働くために必要な姿勢や意識についても教えてくださり、ゆるんだ心がかかなり引き締まったように思います。そのおかげでいつの間にか、「もっと勉強したい！」と思いが強くなりました。私の勉強法としては、まず第一に復習でした。日曜日に授業だったので、日曜、月曜でテキストの内容をもう一度読み直し、必要なときは教科書で補います。SANのテキストは必要なところだけをピックアップしてくれているので、とても使い勝手もよかったです！

そして、火曜～金曜でその範囲の国家試験の過去問を片っ端から解きます。そして土曜に総復習・・・実習も重なりしんどい時もありましたが、先生のすごく分かりやすい授業を受けたのに理解できていないことが自分自身許せなかったし、教室の仲間もすごく意識が高く勉強熱心だったので、つられて私も根気よく頑張れました！先生の授業は、授業当日は必死で聞いて疑問を解消し、その範囲の復習をキチンとすれば必ず身につく授業です。受験の一週間前、受験に焦ってしまい情緒不安定に陥りました。そんな時どこかでそれを察してくれたのか、教室の仲間がメールをくれました。「頑張ってるんだから自信もって大丈夫だよ！」嬉しくて涙が止まらなかったです。SANの仲間達には、精神面でも本当に支えられました。SANのすべての先生、仲間達、SANで過ごした時間は私にとって最高の宝物です！これからも頑張ってください！本当にありがとうございました。

福島県立総合衛生学院（助産学科） S・Mさん

念願叶って、助産学校合格しました！！

去年は独学での受験だったので勉強方法が分からず結果は全滅・・・今年こそは！という意気込みでたどり着いたのが、SANでした。去年の合格率が100%ということで、ここで勉強すれば、絶対に自分も合格できると思い、SANに入校しました。

平日は仕事、週末に新幹線で川口という、受験生活を半年間続けました。佐藤先生の『受かりたいという強い気持ちを持って、しっかり勉強すれば絶対に合格できる』という言葉信じて辛い受験生活を乗り越えることができました。SANの教材はとにかく分かりやすい！先生の授業はおもしろくて、根拠がしっかりで分かりやすい！だから先生についていけば、なんだか合格できる気がしていました。やっぱり、佐藤マジックかかりましたよー。合格しました(笑) 本当にSANで勉強できて、先生に出会えて良かったです。受験を通して実感したことは、自分のなりたい姿を想像して、強い信念を持つことの大切さです。先生本当にありがとうございました☆☆

私がSANへの入校を決めたのは、この合格者の声を見たのがきっかけです！

もし勉強方法がわからない、悩んでいる、という人がいるのなら、私は絶対にSANをオススメします！！間違いありませんよ。

栃木県衛生福祉大学保健看護学部 保健学科 Y・Yさん

私は保健師学校を一校だけ志望していました。だから、その一校には絶対受かりたいという思いが強くありました。一方、一校だけだから失敗したらどうしようという不安も常にありました。しかし、SANに通ううちに、落ちることばかりを考えるのではなく、もっと自分に自信を持っていいんだ、と思えるようになりました。実習があったせいか、自分はそんなに勉強も実習も両立出来ないと、一人で考えてしまうとネガティブ思考が出てきてしまいがちでした。ですが、佐藤先生に『あなたなら大丈夫』と声をかけられると、不思議とできる気がして、頑張れたのだと思います。先生が看護学生の辛さ、医療系に携わることの大変さを熟知しているからこそ力強い言葉がかけられるのだと思いますし、頼れるのだと思います。そうして、一生懸命努力して合格出来たのです。努力した分だけ喜び

は大きいものでした。この喜びがあるのはSANから知識だけでなく勇気ももらったからです。本当に感謝しています。ありがとうございました。

あびこ助産学院 M・Hさん

去年は独学で受験し失敗しました。一人で勉強するのは難しいと思い、看護師国家試験の時にお世話になった佐藤先生を訪ねました。仕事との両立は大変でしたが、今回佐藤先生をはじめみんなの支えで助産師学校に合格できましたあ☆

やっと助産師へのスタートラインにたつ事ができ嬉しさで胸いっぱいです☆SANに通って本当に良かったです。ありがとうございました☆

●2008年

母子保健研修センター助産師学校、秋田県立衛生学院助産科、茨城県立中央看護専門学校助産学科、福島県立総合衛生学院助産学科、北海道立旭川高等看護学院

母子保健研修センター助産師学校 S・Kさん

晴れて合格いたしました！！

SANでは、途中を体調くずし、すごくしんどい思いでした。正直、あきらめちゃうのかな、なんて思いがよぎったりしました。でも佐藤先生がすごく親身になってくれて、そしてすごく元気をもらってました。今からがスタート地点です。もっとつらい壁につまづくと思います。だけど、チャンスは逃したくありません！がんばります！本当にありがとうございました。

秋田県立衛生学院（助産科）

茨城県立中央看護専門学校（助産学科）

福島県立総合衛生学院（助産学科） A・Iさん

出だしが遅くなってしまった受験勉強でしたが、仲間との程よい緊張感と、佐藤先生の叱咤激励の愛情で、合格を勝ち取ることが出来ました。こんな良い環境の中で、1ヶ月という短い期間でしたが、学習に集中できたことが、合格に繋がったと思います。一緒に勉強した仲間と先生に感謝します。一度は本気で就職を考えましたが、最後まであきらめずに落ち着いて試験に臨むことができたと思っています。この合格は、幼い頃からの夢に大きく近づくことができ、また自分に自信にもなりました。ここで立ち止まらずに、また一歩成長できるように努力したいと思います。

母子保健研修センター助産師学校 S・Tさん

合格の通知を見た時は、凄く嬉しくて、すぐに佐藤先生に電話しました。先生は、電話の向こう側で「ヤッター」と叫び、涙を浮かべて一緒に喜んでくださいました。私は、自宅から通える3校に絞って受験したのですが、どこも倍率が高く、先に受験した2校に失敗し、落ち込んでいました。最後の受験の前日、佐藤先生は、「教室で勉強すれば？」と声をかけてくださいました。誰もいない教室で、私は集中して勉強することができましたし、先生と一対一で、話す時間が持て、励ましのお言葉を頂いた事に感謝しています。面接の練習や、個別のアドバイスは大変参考になりました。またSANのテキストは、最高です！受験にも看護師国家試験にも十分対応されています。

私は、幾つかのテキストを利用していましたが、SANのテキストを手にしてからは、今までのテキストの内容の浅さに気付き、SANのものしか使わなくなりました。

講義は内容が濃く、またアットホームでメリハリがあります。先輩方の、受験対策法のメッセージもあり、大変参考になります。受験勉強は、自分との戦いでした。実習や、家事、育児もあり、辛かったけれど、合格の喜びに変えることができ、本当に良かったです。最後まであきらめずに頑張れたのは、佐藤先生を始め、周囲の応援のおかげです。ありがとうございました。

母子保健研修センター助産師学校 S・Sさん

念願叶って、晴れて、入学試験に合格しました。

私は、助産師になりたくて地方から上京したのは、かれこれ3年とちょっと。何度自分にはむいて無いから諦めようとしたか。しかし、両親をはじめ周りの応援があったから、遅ればせながら合格できました。今、素直に言える事は、諦めたらダメということです。

これからは、夢実現のスタートです。常に感謝する気持ちを忘れずに、日々過ごしていこうと思います。石の上にも三年、と実感してます。佐藤先生を始め、友人にも恵まれ途中からのスタートでしたが、毎週の講義が楽しみでした。佐藤先生との出会いもプラスのパワーです。これからもよろしくお願い致します。

●2007年

岩手看護短期大学地域看護学・助産学専攻、福島県立総合衛生学院助産学科、茨城県立中央看護専門学校助産学科、母子保健研修センター助産師学校、埼玉県立短期大学助産専攻科

岩手看護短期大学地域看護学・助産学専攻 S・Cさん

私は幼い頃から助産師になりたいと思っていて看護学校に進学し看護を学んでいきましたが、実習が忙しく大変で、助産師を諦めかけたとき、佐藤先生に出会い、夏休み明けの九月から意を決し、毎日、日曜日佐藤先生のところに通って来ました、しかし実習と進学の勉強の両立は難しく、くじけそうになったときもありましたが、友人に支えられ、最後の最後で合格を手にすることが出来ました！試験内容は基本的な内容が多く、過去に出たものも多く出題されました。合格は本当にうれしかったです！がんばりは誰か見ていてくれていると感じました。

ホントに諦めなくて良かった、だからこれから進学を目指す方も諦めないで自分の道を歩んでほしいです。チャンスは誰にでもある！先生本当にありがとうございました！

福島県立総合衛生学院助産学科 N・Mさん

私は9月からSANに入りました。看護師になって2年目なので事例研究や仕事をしながらの勉強や受験まで4ヶ月しかない事に不安を持ち入りました。先生の話や聞きと迷いや不安をやる気に変えてくれるのすごく背中を押してくれます。又SANよりも安い費用の進学塾はないと思います。思いついた時には「もう遅いや」

「難しいかな」等と自分で判断せず、是非SANに電話してみてください。

私はあの日SANに電話して本当によかったと思っています。多くの情報があるため毎年その年の勉強を教えてください。又英語や小論文もその年注目すべき点を組み込んで教えてくれる為合格への近道間違いなしです！今一番目玉の塾だと思っています。

茨城県立中央看護専門学校 助産学科

母子保健研修センター 助産師学校 K・Mさん

助産師を目指すこと決め、夏休み明けからSANに通いました。しかし、看護学校の実習と受験勉強の両

立は難しく、体力的・精神的に厳しい状況、10月には推薦入試での不合格が続き、自信を無くし、本年は受験をしても合格できない気持ちでいっぱいでした。しかしたくさんのアドバイスと叱咤激励を佐藤先生からいただき、最後に合格をいただく事が出来ました。先生と出会わなければこの合格は無かったと思います。すべての受験を終えて感じたことは、試験は基本的な問題が多かったこと。かなり難しい問題も時には混ざっていましたが、基本をしっかり抑えていれば、解答が導ける問題が多かったと思います。基本がおろそかになっていた自分にすごく後悔しました。

試験で出た基本問題も困難な問題も、ほとんどがSANで使用したテキストに網羅されていたと思います。授業で使用したテキスト（特に小児・母性）はとても重要です。国語は漢字力、文章読解能力が問われました。一般常識は幅が広いので、勉強がしにくいですが、たくさんの文章を読んだり、ニュースを見るのが好きな所が役にたったと思います。小論文は、SANで講義を取り、効果的な文章の書き方を学び、試験に生かす事が出来ました。

埼玉県立短期大学 助産専攻科 M・Sさん

私の受験は、様々な人の励ましがなければ、乗り越えることができなかつたと感じています。実習メンバー、両親、学校の先生方、友人、そしてSANと佐藤先生。SANは、自分が一人で受験しているのではないと感じさせてくれる、あたたかい所です。休んでしまったとき、プリントを家まで送ってくださったり、試験前には、時間をとって面接の練習をしてくださったりと、手厚い指導をしてくださいました。小論文試験はどこの学校もあると思いますが、SANでは、構成の仕方や自分の文章の特徴まで細かく分析して指導して下さるので、お勧めです。

私は、SANで小論文を習わなければ、合格はなかつたと思います。英語は、実際に問題を解きながら、文法、単語まで細かく学習するので実践力が確実につきます。また、SANに行けば、同じ志をもった多くの仲間に出会えます。授業に出なかつたとき、「先週はこうだったよ」と教えてくれた友人の優しさも忘れません。実習や仕事でみんな大変な生活を送りながらの受験だと思いましたが、SANに行けば、必ず道が開けると思います。

●2007年

母子保健研修センター助産師学校、秋田県立衛生看護学院助産科、福島県立総合衛生学院助産学科
埼玉県立短期大学助産専攻科、帝京平成看護短期大学専攻科助産学専攻

母子保健研修センター 助産師学校 J・Mさん

私がSANに通ったのは夏休み明けからです。佐藤先生の「大丈夫、絶対合格できる」という強い言葉に後押しされ、がんばることができました。最後の最後に合格でき、先生の言葉を信じて来てほんとはよかつたと思います。

初めは自信がなかつた私もSANで学び、励まされて合格することができました。

私もそうでしたが、現役生の方は実習や国試もあり、大変かと思いますが、先生を信じ、自分を信じていれば必ず道は開けると思います。最後まで支えてくださった先生方、ほんとにありがとうございました。

秋田県立衛生看護学院 助産科

福島県立総合衛生学院 助産学科 T・Kさん

私が本格的に受験勉強を始めたのは3年生の夏休みからでした。夏休みを利用して学校見学に行つてからあせりを感じ、不安がいっぱいでした。そんなときSANのホームページを見つけ通学を決めまし

た。しかし、毎日、実習の日々の中、受験勉強は大変でした。特に英語は最初はとても不安でしたが、少しずつ知識が身についてきて自信につながりました。

試験会場では予想以上の倍率に驚き、助産はほんとに難しいと感じました。

これから助産師学校を目指す皆さん、勉強しているときは、とても辛く感じると思いますが、努力した分、必ず自分に帰ってきます。佐藤先生と一緒にがんばってください。

埼玉県立短期大学 助産専攻科 N・Yさん

試験に落ち着いて臨むことができたのも、夏期講習からS A Nに通い始め、心の準備を整えることができたからだと思います。佐藤先生の授業は、図を書いたり、身体を使って説明したり、とてもわかりやすく、助産学校それぞれの入試の特徴を把握し、適切にアドバイスをしてくれるためとても心強かったです。また、国試を控える現役生のために国試のポイントを教えていただき、とても助かりました。

英語は今までの受験英語と違い、医療英語を中心とした英語の受講が大変役に立ちました。経験豊富な先生方のいるS A Nでは少人数で受講でき、いつも先生方に励まされてもらい、実習と国試と受験勉強と、色々な悩みが生じる中、がんばることができたと思います。

助産学校は狭き門といわれ、大変なこともあると思いますが、夢に向かってがんばってください。

帝京平成看護短期大学専攻科 助産学専攻 S・Mさん

小学校低学年の頃から夢見ていた助産師でしたが、実習が忙しく、受験勉強はほとんどできませんでした。受験をあきらめようかと考えたこともありましたが、S A Nに出会ってから、教室を利用し、実習中でも受験勉強の時間を確保することができました。受験勉強は助産学校の過去問を中心に行いました。分からない所、間違った所、よく出題されている問題を1冊のノートにまとめ繰り返し行いました。受験直前は精神的につらくなる時もありましたが、佐藤先生のパワーをいただき、受験を乗り切ることができました。助産学校は狭き門となっていますが、自分を信じて、夢をあきらめずにがんばってください。

埼玉県立短期大学 助産専攻科 K・Hさん

助産科進学は、女性として自分自身の健康に興味を持ち、また母性の授業や実習を通して、助産師になりたいという思いが強くなり、目指すようになりました。

受験に際しては、先輩の受験対策を聞き、某予備校に通い始めていたのですが、先輩が話してくれた佐藤先生ではなく、やっとS A Nに佐藤先生がいることを知り、先生に習いたいとS A Nに通うようになりました。S A Nでは看護学、英語、小論文を受講しましたが、ここでは勉強面だけではなく、精神的に大きな支えとなりました。佐藤先生の「あなたなら大丈夫！」という言葉があったから乗り越えられたと思います。本当にありがとうございました。

● 2005年

北海道大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻 I・Yさん

子供の頃から勉強が苦手だったため、芸術系大学に進学。異分野で専門職に従事していましたが、長年の不妊治療をへて出産を体験し助産師を志しました。勉強ができないため、一浪してやっと看護学校に入学することができました。40歳に迫る年齢ということもあり、絶対に浪人せず助産学校に入

りたい！と佐藤先生の講義の門を叩きました。家事・4才の子の育児、学校の実習、国試勉強をこなしながら毎週遠方まで通えるだろうか、と不安でしたが、講義が想像以上に勉強になり、また佐藤先生のマイク要らずの明るい声に元気をもらいたくて通いとおすことができました。講義のおかげで看護国試の各社全国模試でも約3万人中、つねに100番以内をキープすることができるようになり、おかげで9月以降は自宅で英語に専念することができました。

私はTOEIC680点とっておりましたが、医療英語はまた異質な分野だと痛感しました。英語が得意な方であっても専門的に勉強なさることをお勧めします。

先生の講義は根拠となる事柄を詳しく教えてくださるため、学校の授業でわからなかったことがたくさんクリアになりました。すると、さまざまな病態や看護技術の意味など、看護医療全体が「へーなるほど！」とつながりだし、学ぶことが楽しくなりました。先生が用意してくださった資料の数々もよくて、すっと頭に入りました。根本からしっかり理解できてしまうと、丸暗記の努力を要さず記憶できるため、一人で何時間も机に向かうよりずっと効率的な学習をすることができたと思います。

先生の講義にはステキなおまけがあります。それは講義中、皆にハッパをかけて「やる気」を起こさせてくれること。自信喪失しそうな時でも、通い続ける事でモチベーションを保ち続けることができ、3年間憧れ続けた第一志望校の合格通知を手にする事ができました。佐藤先生の前で、助産学校に入ることができるだろうか、と流した涙が嬉し涙になりました。